備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成22年度事業）

事業の概要

事業開始年度		平成17年度	
総合計画 大項目	基本目標	06	健全で自立したまちづくり
総合計画 中項目	基本施策	01	簡素で効率的な行財政運営
総合計画 小項目	施策	12	その他事務管理（財産管理）
事務事業名		08	三石財産区管理事業

根拠法令・例規等		三石財産区管理会条例 三石財産区基金条例
問合先	担当課（室）	財政課
	職・氏名	係長　芳田猛
	電話	０８６９－６４－１８１１
このシート作成に要した時間		1.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	三石財産区の保有財産及び区域内の住民
目的（何のために）	三石財産区の保有財産の適正な管理・運用
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	三石財産区の良好な運営

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
管理会運営業務	三石財産区管理事業特別会計予算の適正な執行のため、管理会を４回開催し審議・決定した。	○
財産維持管理業務	三石財産区の保有土地の維持管理のため、草刈作業を実施しました。 駐車場の利用者増を図るため、看板の改修工事を実施しました。	◎
財産区基金管理業務	基金預金利子及び償還金の積立等事務処理	△

決算額 事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
事業費	直接事業費	千円	1,451	1,514	1,504
	必要人員　人件費	千円	0.05人　379	0.10人　844	0.03人　281
	事業費計	千円	1,830	2,358	1,785
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他（　　）	千円			
	一般財源	千円	1,830	2,358	1,785
受益者負担比率		%	－	－	－

結果指標 結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
保有財産草刈延人数		説明	財産区の土地維持管理に係る年間の草刈作業に要した人数		
	結果指標量	事業	133	135	134
	対前年比	%		101.5%	99.3%
	活動コスト	円	1,830,000	2,358,000	1,785,000
	単位当たりコスト	円	13,759	17,467	13,321

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
維持管理適正運営	目標値（A）	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績値（B）	2,069	1,865	1,577	到達目標値
	達成率（B/A）	103.45%	93.25%	78.85%	2,000

成果指標設定の考え方・式や説明

財産区の財産維持管理は、歳入の範囲内での運営に努めるべきであるため。（歳入－歳出＞2,000（単位千円））

Check

事務事業の評価

５段階評価（Ａ～Ｅ）のランク基準　Ａ：高い　Ｂ：やや高い　Ｃ：普通　Ｄ：やや低い　Ｅ：低い

妥当性の評価

市の関与の妥当性・必要性
- ☑ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
- ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ☐ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ
- ☑ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：**B**

効率性の評価

コスト手段
- ☑ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ☐ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ☐ 受益者負担率は適正である
- ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
- ☑ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ☐ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：**C**

有効性の評価

目的達成度
- ☐ 成果指標の設定は適切である
- ☐ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ☑ 成果指標達成率は80%未満となっている
- ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度
- ☐ 法定事務　・　内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ☑ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ☑ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：**C**

進行年度（H23年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

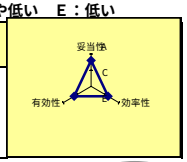
説明：財産区保有の山林貸付収入は、賃借人の事業休止により今後の増収が見込めないため、市のホームページや広報紙を活用し駐車場の利用者数増による増収を図る。

総合評価

５段階評価（Ａ～Ｅ）のランク基準　Ａ：高い　Ｂ：やや高い　Ｃ：普通　Ｄ：やや低い　Ｅ：低い

財産貸付収入の範囲内で、財産の管理・運営が図られているが、貸付収入が年々減少しているため、駐車場の利用状況を分かりやすくするため看板の設置を行い、利用者の増加を図った。

評価区分 <A～E>：**B**



Action

平成24年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：特に、駐車場の利用状況の把握に努め、財産貸付収入増と歳出削減の両面から適正な管理・運営に努めます。